

学力検査問題の種類および学力検査の成績と調査書の評定にかける倍率のタイプ

平成28年度公立高校一般入試選抜

倍率のタイプ	学力検査問題の種類			主な高校
	国語	数学	英語	
タイプI 学検：評定=7：3	C	C	C	北野、茨木、春日丘、千里、大手前、四條畷、寝屋川、市岡、高津、天王寺、住吉、今宮
	C	B	C	牧野、市立南
	B	B	B	箕面、港、枚方、市立沢愛、大阪市立、阿倍野、東住吉
タイプII 学検：評定=6：4	B	B	B	東淀川、阪南、楓の木、芦間、咲くやこの花
	B	C	C	市立東
	C	B	B	旭
	C	B	C	清水谷
	C	C	C	夕陽丘
タイプIII 学検：評定=5：5	A	A	A	西淀川、茨田、泉尾、大正、西野田工科、市立泉尾工業、今宮工科、堺工科
	B	A	B	市立淀商業、市立住吉商業
	B	B	B	守口東、市立桜宮、市立西、農芸、淀川工科、市立都島工業、柴島、市立扇町総合
	B	B	C	市立大阪ビジネスフロンティア
タイプIV 学検：評定=4：6	A	A	A	園芸
	B	A	B	市立鶴見商業

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出題する。	基礎的な計算問題を出題するとともに、「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出題する。	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出題する。	標準的・発展的な内容の英文について話題や論理の流れに沿って読み取る力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。